

平成25年11月18日 都市再生本部会議 協議記録

開催日時	平成25年11月18日(月) 午前10時45分から午後0時まで
開催場所	庁議室
出席者	市長、副市長、教育長、特命監(経営改革・草津未来研究所担当)、総合政策部長、危機管理監、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、人権政策部長、市民環境部長、市民環境部理事(廃棄物担当)、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康増進担当)、子ども家庭部長、産業振興部長、特命監(都市再生担当)、都市建設部長、都市建設部理事(都市再生担当)、都市建設部理事(住宅担当)、都市建設部理事(景観・交通政策担当)、上下水道部長、教育部長
欠席者	議会事務局長
議事概要	下記のとおり

1. 報告事項

(1) 国道1号草津川トンネル跡両側敷地活用懇話会について

【特命監(都市再生担当)から懇話会の概要説明】

- ・国道1号草津川トンネルの撤去に伴う敷地の活用について、懇話会を開催している。第二回を11月27日に開催する予定であり、内容・資料などを事務局から説明する。

【草津川跡地整備課長から懇話会で提示する資料等の説明】

- ・第一回国道1号草津川トンネル跡両側敷地活用懇話会では、懇話会の進め方と現地視察を行った。
- ・第二回懇話会において示す資料について説明を行った。

【主な質疑・意見】

- ・トンネル撤去後の草津川のイメージとして、立体交差での遊歩道の連続性、また駐車場ではなく緑の空間として整備してほしいという意見は懇話会で出なかったのか。
→第二回懇話会において、そのような意見が出る可能性もあり、それらの意見も踏まえて計画を進めたい。
- ・国道1号から段差を設けて階段状にすることで、広く平地を設け整備することのだが、車椅子などの通行も考慮した設計なのか。資料からは読み取れない。
→活用スペースとなる中心部分が階段状になる。車椅子も含めた歩行者動線については、出来る限り勾配を緩やかにできるよう実施設計にて設計する予定である。資料は見やすく修正する。
- ・草津学区の元町地区連絡会から、トンネル撤去によって神輿の通行路が変更されることについて意見があった。区間⑤と区間⑥が分断されることについて、立体交差を含めた検討をお願いしたい。
→費用対効果、懇話会や議会等の意見などを踏まえ検討を進めたい。

(2) アニマート跡地賑わい空間整備事業の実施状況について

【特命監(都市再生担当)から資料に基づき説明】

・60周年記念事業として、宿場まつりと併せてオープンを目指していたが、工期が延びることにより、オープン時期が延期となることを報告した。また、資料に基づき、中心市街地活性化基本計画書の内閣府の認定について報告を行った。

【主な質疑・意見】

・入札が不調となった原因や、今後の対応について触れられていないが、アニマート跡地賑わい空間整備事業については、あくまで報告か。
→報告事項である。

(3) 野村スポーツゾーン整備基本計画策定スケジュールについて

【スポーツ保健課長から資料に基づき説明】

・今後のスケジュールの説明を行った。

【主な質疑・意見】

・意見なし

このページのお問い合わせ

概要作成担当	草津市 都市建設部 まちなか再生課 まちなか再生グループ
電話	077-561-2399
ファックス	077-561-2482
メール	machinaka@city.kusatsu.lg.jp